

外航コンテナの国内フィーダ輸送報告（28年度実績）

平成28年度における外航二次コンテナ輸送量の実態調査結果は以下の通りである。

1. 調査対象会社

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、前回の調査対象会社で輸送実績のあった事業者を中心に、12社に対して調査を実施した。

(1) フィーダ・コンテナ輸送事業者

調査を依頼した12社（27年度12社）すべての事業者から有効回答を得られた。

(2) 使用船腹

使用船腹は、一般貨物船20隻（27年度23隻）、コンテナ船24隻（27年度24隻）、RORO船3隻（27年度5隻）、フェリー7隻（27年度7隻）、その他2隻（27年度2隻）であり、合計56隻（27年度61隻）となった。

<参考>年度別使用船腹量(平成24～28年度) (単位:隻)

	H24	H25	H26	H27	H28
一般貨物船	22	17	18	23	20
コンテナ専用船	19	19	22	24	24
RORO船	5	5	3	5	3
フェリー	7	7	8	7	7
その他	4	3	4	2	2
合計	57	51	55	61	56

2. 調査結果

調査結果について下記に要約する。なお、詳細を4～13頁に示す。

(1) 輸送実績

実入コンテナ	528,452	TEU	27年度(459,429TEU)対比	約15.0%	増
			26年度(425,501TEU)対比	約24.1%	増
空コンテナ	273,089	TEU	27年度(241,853TEU)対比	約12.9%	増
			26年度(273,704TEU)対比	約0.3%	減
総計	801,541	TEU	27年度(701,282TEU)対比	約14.2%	増
			26年度(699,205TEU)対比	約14.6%	増

〈参考〉年度別輸送量(平成 23～28 年度)

(単位:TEU)

	実入コンテナ	空コンテナ	合計
平成 23年度	353,955	227,522	581,477
平成 24年度	384,457	226,798	611,255
平成 25年度	399,183	245,019	644,202
平成 26年度	425,501	273,704	699,205
平成 27 年度	459,429	241,853	701,282
平成 28 年度	528,452	273,089	801,541

◎内航フィーダー輸送の概況トピックス

- ・平成 28 年度内航フィーダー輸送量は前年度輸送量が 701,282TEU であったが、801,541 TEU となり、前年度比 14.2%増加した。
- ・外航アライアンスの航路再編により、外航母船の寄航地変更に伴う影響。
- ・輸出・輸入貨の増加。
- ・国際コンテナ戦略港湾施策の推進効果（集荷推進の取組、フィーダー網の拡充等）。
- ・内航フィーダー船社の輸送向上（船舶の大型化、新規航路開拓に伴う輸送量増加）等。
- ・基幹航路に比べ、アジア航路向けの貨物が内航フィーダー取扱量に占める割合が増加傾向となっている。

昨年度の報告書でも京浜港の内航フィーダー専用バースが整備されていないための、沖待ちやバースホッピングを強いられる事案が多いとの問題提起を行ったが、今年度は港湾自体の整備は変わらないものの、運用面で内航フィーダー船への融通が図られ、上記の問題なしに、荷役が出来た事案もあった。

しかし、この事例はあくまで融通するレベルであり根本的な解決とはなっておらず、神戸港の様に外貿コンテナバース内で一連の荷役が可能なバースが整備されることが望まれている。

・韓国フィーダーの現況

2001～2016年の内航フィーダーと日本～釜山フィーダー（以下、「日韓フィーダー」という）の輸送量の比較は[図3]のとおりである。（内航フィーダーは年度実績、釜山フィーダーは暦年実績）。

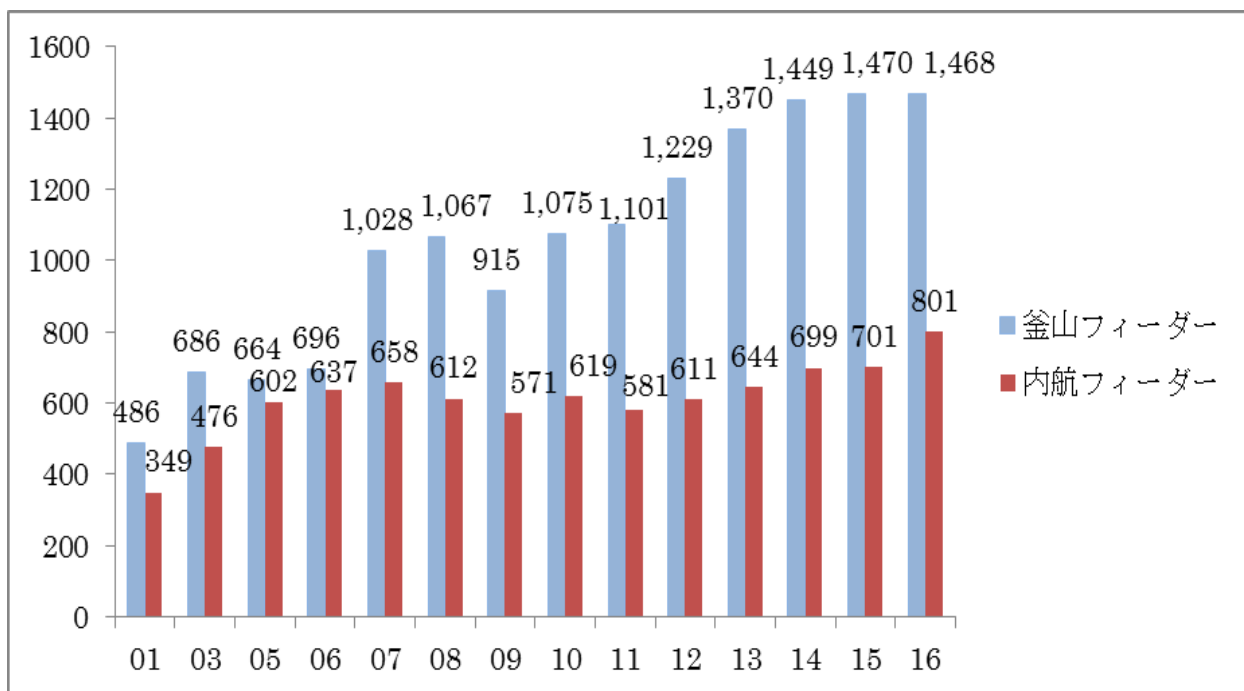
2016年の日韓フィーダーは1,468千TEUであり前年と比べ微減となったが、これに関して従前に韓国でのトランシップ（以下、「T/S」と示す）を行っていた船社が中国接続に変更したと考えられる事、国際コンテナ戦略港湾政策の成果がT/S貨物の流出の歯止めに繋がったと見る事が出来るのではないかと。

また、日韓船社の船舶の大型により、釜山港にてT/Sをせずに東南アジアに直行するサービスが増えている事に伴う、取扱量の減少と考えられるのではないかと。

釜山港が日韓フィーダーの充実したサービスネットワークを持つ、北東アジア最大のハブ港として存在感を示していた、同港の機能低下をもたらしかねない状況であり、今後どのような影響が出てくるかの動向を注視していきたい。

また、このところ外航コンテナ船が大型化しており、それまで就航していた船舶を外航船社が自営により日韓フィーダーを行う事例が散見され、当該船舶には大型船（700TEU型以上）が投入されており、今後内航フィーダー船社にとって驚異となり得るかもしれない。

[図3]内航フィーダー釜山フィーダー輸送実績比較表（単位：千TEU）



平成28年度内航船による外航コンテナフィーダー輸送量実績調査

[会社名及び使用船舶一覧表]

会社名	使用船舶		
	船種	船型(G/T)	隻数
マツダロジスティクス(株)	コンテナ船	498	(1)
	コンテナ船	749	(2)
日本通運(株)	コンテナ船	7,323	2
	RORO船	10,470	2
	RORO船	10,497	1
鈴与海運(株)	一般貨物船	499	8
	コンテナ船	749	1
井本商運(株)	一般貨物船	498	3
	一般貨物船	499	6
	一般貨物船	731	1
	一般貨物船	749	2
	コンテナ船	499	3
	コンテナ船	749	12
	コンテナ船	2,464	1
	コンテナ船	2,507	1
	コンテナ船	7,390	1
その他	3,240	1	
西日本内航フィーダー(合)	コンテナ船	3,256	1
ナラサキスタックス(株)	コンテナ船	2,507	(1)
近海郵船(株)	コンテナ船	749	1
横浜コンテナライン(株)	コンテナ船	749	1
(株)ユニエックス	その他	548	1
阪九フェリー(株)	フェリー	13,353	2
	フェリー	15,897	2
四国開発フェリー(株)	フェリー	9,917	1
	フェリー	9,975	1
	フェリー	15,732	1
	一般貨物船		20
	コンテナ船		24
	RORO船		3
	その他		2
	フェリー		7
	合計		56

※ 隻数に表示の()に関しては、共同運航使用等のため、合計隻数には含めず。

※ 南日本汽船(株)の平成28年度の実績は無しであった。

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成28年度実績

[積地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			地域別割合 (%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	753	4,125	9,003	1,887	5,775	13,437	2,640	9,900	22,440	2.80%
東北	7,477	20,464	48,405	1,749	6,331	14,411	9,226	26,795	62,816	7.84%
関東	13,305	44,757	102,819	7,693	17,741	43,175	20,998	62,498	145,994	18.21%
中部	7,240	21,813	50,866	2,624	2,113	6,850	9,864	23,926	57,716	7.20%
関西	21,656	43,031	107,718	32,309	60,963	154,235	53,965	103,994	261,953	32.68%
四国	12,960	9,714	32,388	3,038	4,806	12,650	15,998	14,520	45,038	5.62%
中国	19,034	55,814	130,662	3,393	2,518	8,429	22,427	58,332	139,091	17.35%
九州	9,947	18,322	46,591	5,666	7,118	19,902	15,613	25,440	66,493	8.30%

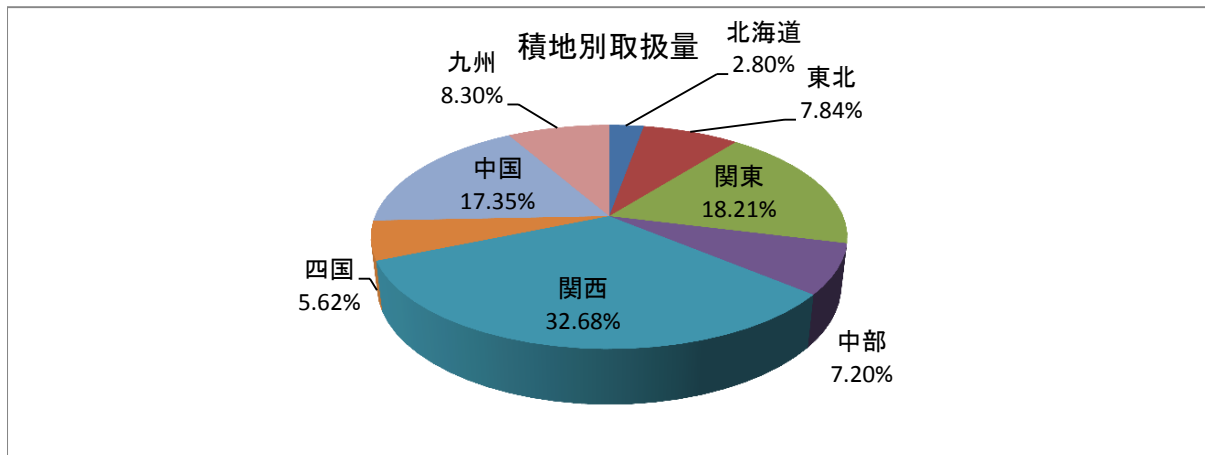
総計	92,372	218,040	528,452	58,359	107,365	273,089	150,731	325,405	801,541	100%
----	--------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、岩手、宮城、福島
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀

[積地港別]

- 北海道：苫小牧
- 東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
高松、三島川之江、高知、東予
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部、玉島、
福山、三田尻中関、防府
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島
油津、八代、長崎、播磨川内、伊万里、新門司



内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成28年度実績

[揚地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			地域別割合 (%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,801	8,796	20,393	248	789	1,826	3,049	9,585	22,219	2.77%
東北	5,036	18,280	41,596	4,636	9,187	23,010	9,672	27,467	64,606	8.06%
関東	17,670	48,305	114,280	5,658	13,227	32,112	23,328	61,532	146,392	18.26%
中部	5,804	14,768	35,340	2,876	10,509	23,894	8,680	25,277	59,234	7.39%
関西	43,051	91,680	226,411	11,663	14,931	41,525	54,714	106,611	267,936	33.43%
四国	4,090	8,168	20,426	11,232	5,654	22,540	15,322	13,822	42,966	5.36%
中国	6,452	15,715	37,882	17,391	47,787	112,965	23,843	63,502	150,847	18.82%
九州	7,468	12,328	32,124	4,655	5,281	15,217	12,123	17,609	47,341	5.91%

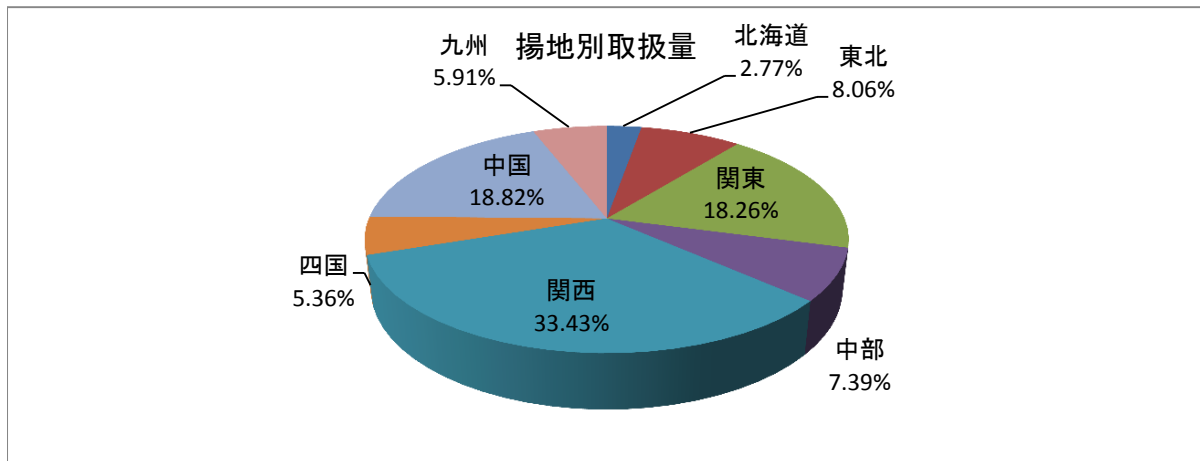
総計	92,372	218,040	528,452	58,359	107,365	273,089	150,731	325,405	801,541	100%
----	--------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、宮城、福島、岩手
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀

[揚地港別]

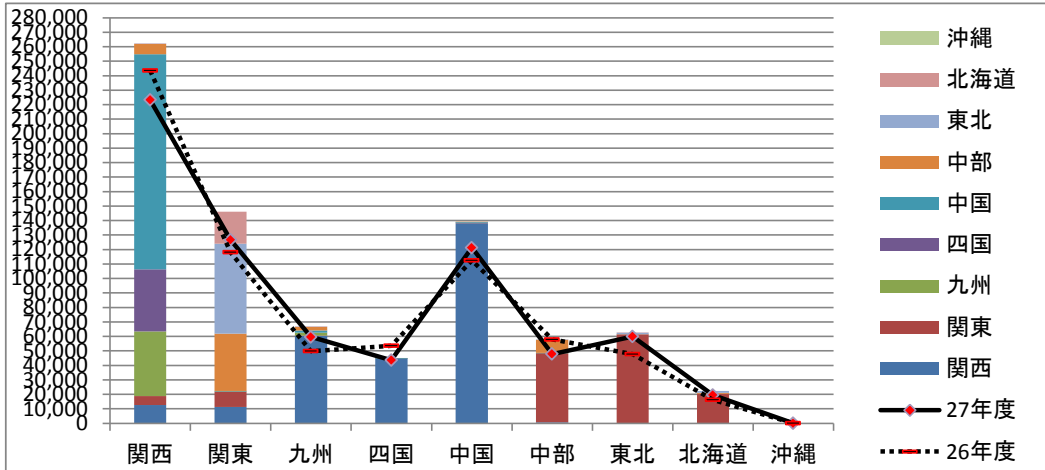
- 北海道：苫小牧
- 東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、千葉
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、高松、高知、東予
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部
福山、三田尻中関、防府、玉島
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、新門司
油津、八代、長崎、播磨川内、伊万里、細島



地域間流動比較(総計TEU)

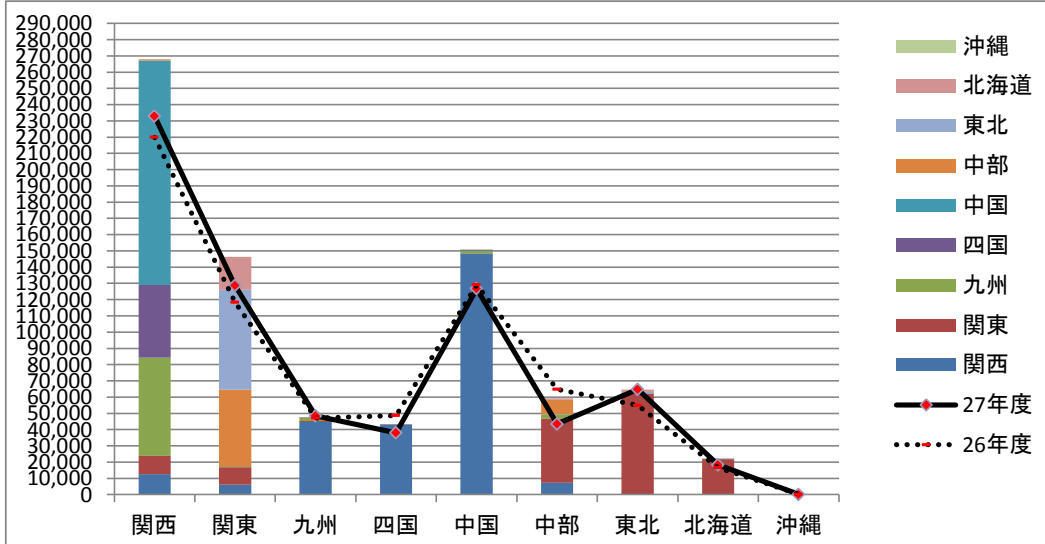
1. 積港地域別流動比較

積地	合計(26年度)	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比 (TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	16,225	19,531	22,440	2,909	114.9%
東北	47,768	59,856	62,816	2,960	104.9%
関東	118,008	126,556	145,994	19,438	115.4%
中部	57,867	47,795	57,716	9,921	120.8%
関西	243,507	223,206	261,953	38,747	117.4%
四国	53,510	43,496	45,038	1,542	103.5%
中国	112,491	121,260	139,091	17,831	114.7%
九州	49,829	59,582	66,493	6,911	111.6%
沖縄	0	0	0	0	—
総計	699,205	701,282	801,541	100,259	114.3%



2. 揚港地域別流動比較

揚地	合計(26年度)	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比 (TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	16,461	18,324	22,219	3,895	121.3%
東北	54,898	64,746	64,606	▲ 140	99.8%
関東	118,375	128,657	146,392	17,735	113.8%
中部	64,789	43,443	59,234	15,791	136.3%
関西	219,810	232,867	267,936	35,069	115.1%
四国	48,673	37,987	42,966	4,979	113.1%
中国	129,049	126,735	150,847	24,112	119.0%
九州	47,021	48,403	47,341	▲ 1,062	97.8%
沖縄	129	120	0	▲ 120	0.0%
総計	699,205	701,282	801,541	100,259	114.3%



地域間流動比較(実入、空TEU)

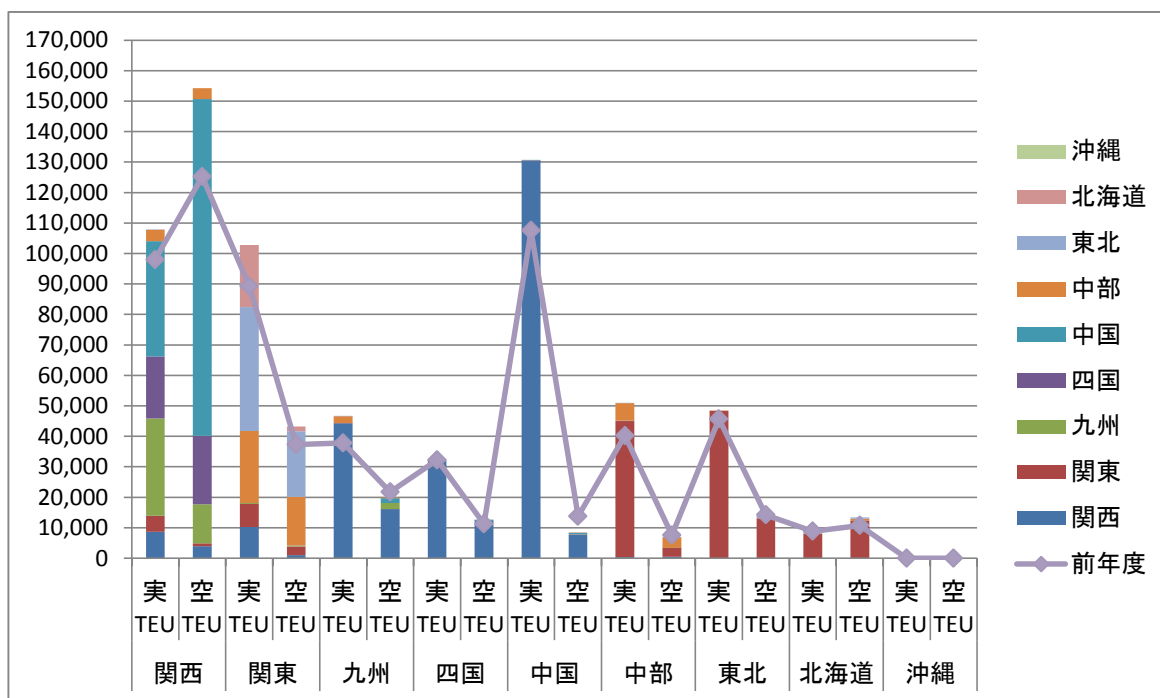
1. 積港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

積地	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	8,814	9,003	189	102.1%
東北	45,642	48,405	2,763	106.1%
関東	89,264	102,819	13,555	115.2%
中部	40,211	50,866	10,655	126.5%
関西	97,966	107,718	9,752	110.0%
四国	32,215	32,388	173	100.5%
中国	107,499	130,662	23,163	121.5%
九州	37,818	46,591	8,773	123.2%
沖縄	0	0	0	—
総計	459,429	528,452	69,023	115.0%

空コンテナ対比表

積地	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	10,717	13,437	2,720	125.4%
東北	14,214	14,411	197	101.4%
関東	37,292	43,175	5,883	115.8%
中部	7,584	6,850	▲ 734	90.3%
関西	125,240	154,235	28,995	123.2%
四国	11,281	12,650	1,369	112.1%
中国	13,761	8,429	▲ 5,332	61.3%
九州	21,764	19,902	▲ 1,862	91.4%
沖縄	0	0	0	—
総計	241,853	273,089	31,236	112.9%



地域間流動比較(実入、空TEU)

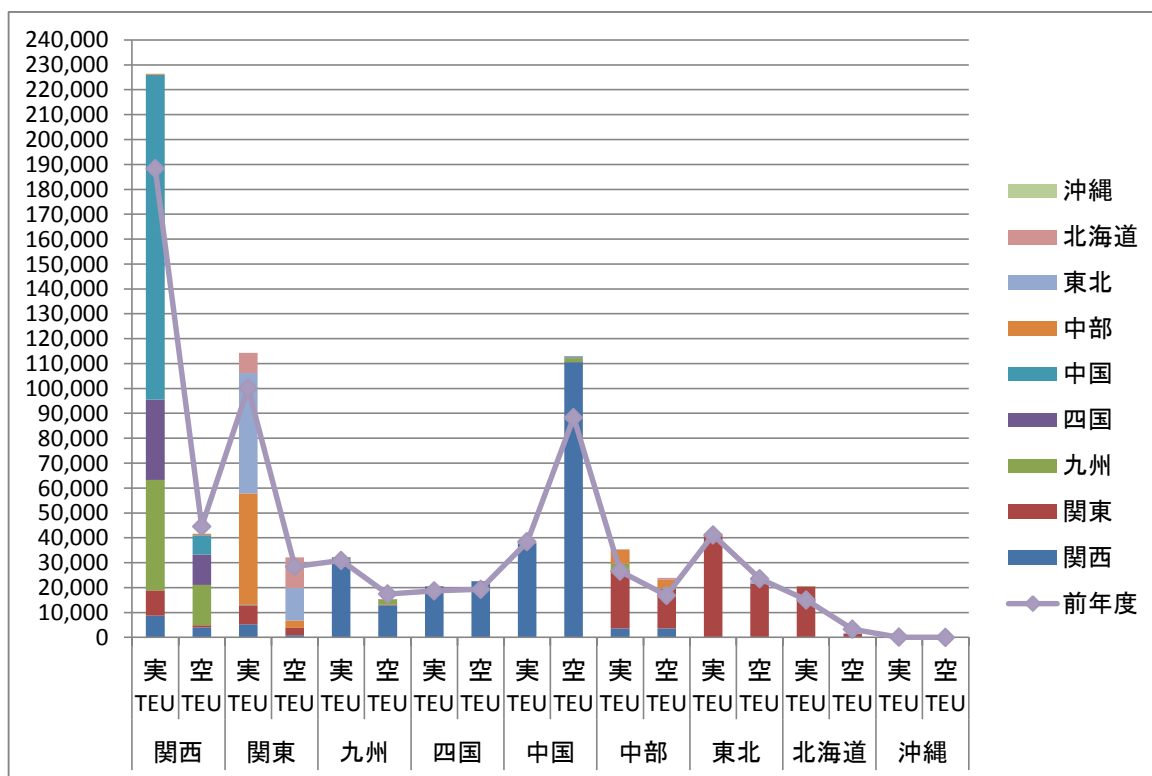
2. 揚港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

揚地	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	15,037	20,393	5,356	135.6%
東北	41,201	41,596	395	101.0%
関東	100,187	114,280	14,093	114.1%
中部	26,554	35,340	8,786	133.1%
関西	188,348	226,411	38,063	120.2%
四国	18,657	20,426	1,769	109.5%
中国	38,399	37,882	▲ 517	98.7%
九州	30,926	32,124	1,198	103.9%
沖縄	120	0	▲ 120	0.0%
総計	459,429	528,452	69,023	115.0%

空コンテナ対比表

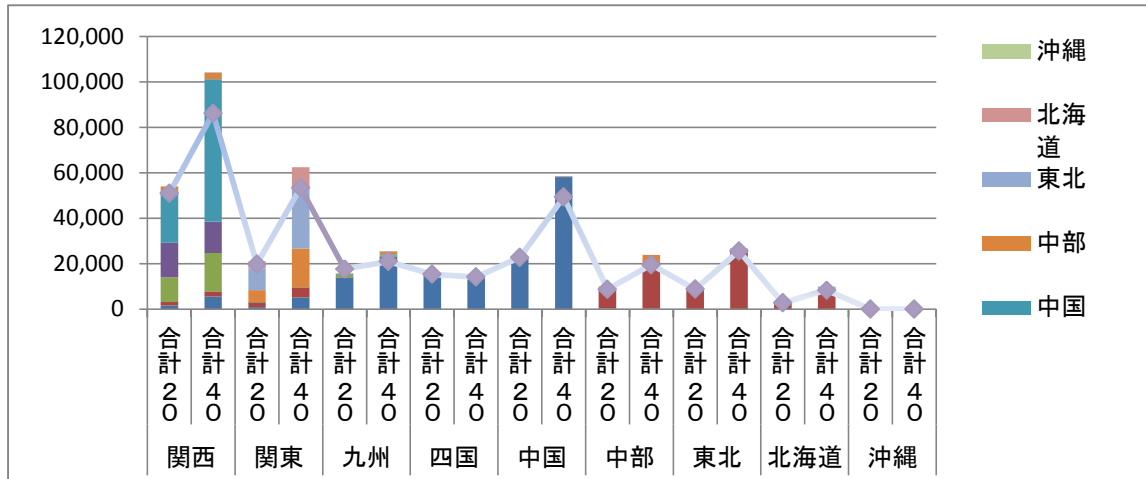
揚地	合計(27年度)	合計(28年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	3,287	1,826	▲ 1,461	55.6%
東北	23,545	23,010	▲ 535	97.7%
関東	28,470	32,112	3,642	112.8%
中部	16,889	23,894	7,005	141.5%
関西	44,519	41,525	▲ 2,994	93.3%
四国	19,330	22,540	3,210	116.6%
中国	88,336	112,965	24,629	127.9%
九州	17,477	15,217	▲ 2,260	87.1%
沖縄	0	0	0	—
総計	241,853	273,089	31,236	112.9%



地域間流動比較(20'、40')

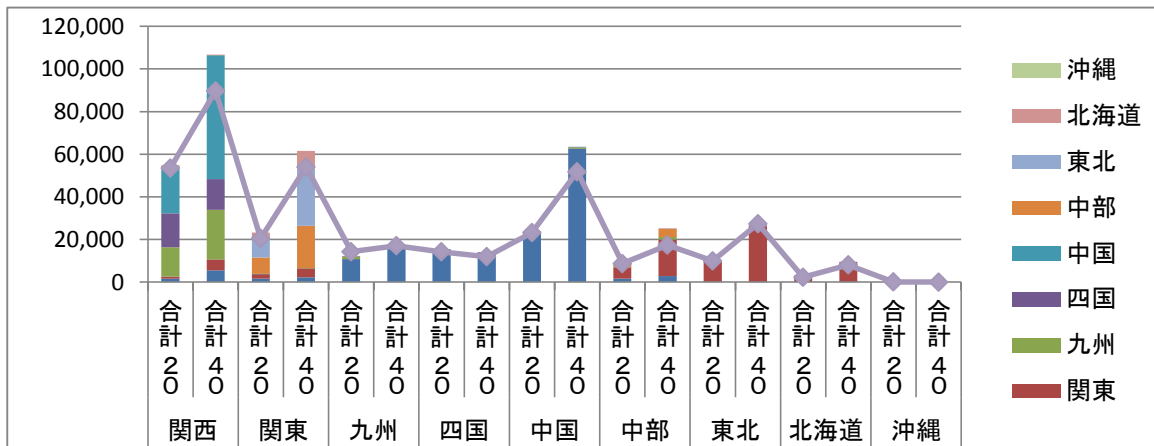
1. 積港地域別流動比較

積地	合計(27年度)		合計(28年度)		合計対前年比(本数)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	2,785	8,373	2,640	9,900	▲ 145	1,527	94.8%	118.2%
東北	8,742	25,557	9,226	26,795	484	1,238	105.5%	104.8%
関東	19,786	53,385	20,998	62,498	1,212	9,113	106.1%	117.1%
中部	8,733	19,531	9,864	23,926	1,131	4,395	113.0%	122.5%
関西	50,904	86,151	53,965	103,994	3,061	17,843	106.0%	120.7%
四国	15,310	14,093	15,998	14,520	688	427	104.5%	103.0%
中国	22,720	49,270	22,427	58,332	▲ 293	9,062	98.7%	118.4%
九州	17,708	20,937	15,613	25,440	▲ 2,095	4,503	88.2%	121.5%
沖縄	0	0			0	0	—	—
総計	146,688	277,297	150,731	325,405	4,043	48,108	102.8%	117.3%



2. 揚港地域別流動比較

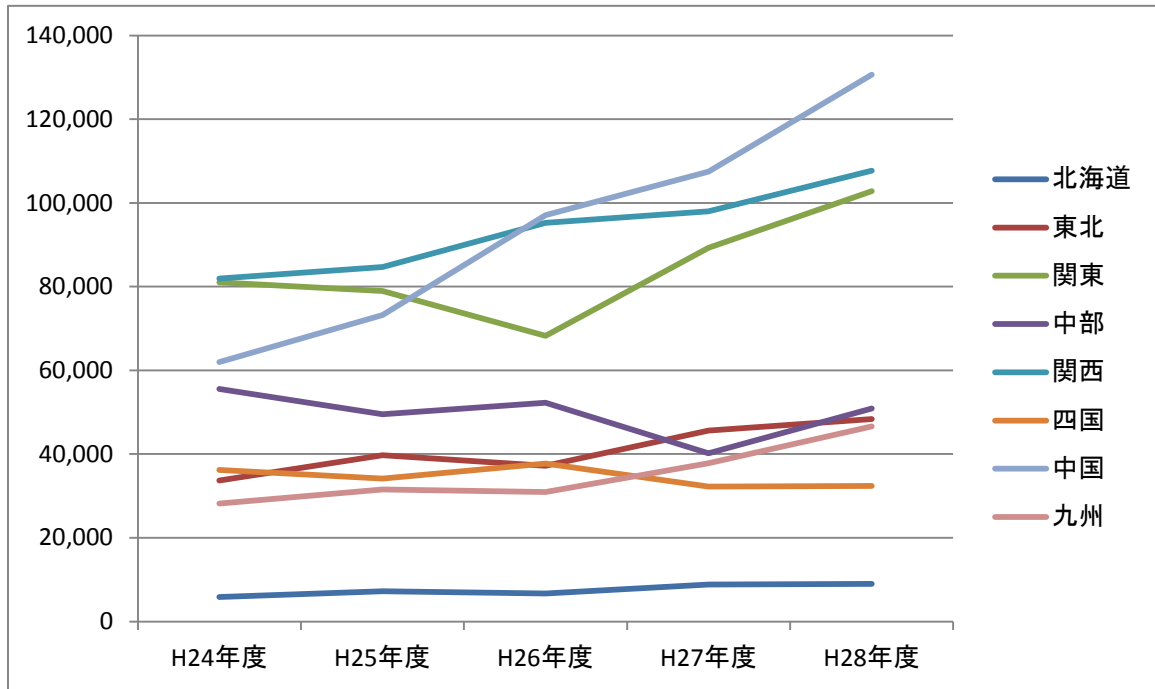
揚地	合計(27年度)		合計(28年度)		合計対前年比(本数)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	2,248	8,038	3,049	9,585	801	1,547	135.6%	119.2%
東北	10,022	27,362	9,672	27,467	▲ 350	105	96.5%	100.4%
関東	20,509	54,074	23,328	61,532	2,819	7,458	113.7%	113.8%
中部	8,721	17,361	8,680	25,277	▲ 41	7,916	99.5%	145.6%
関西	55,463	89,702	54,714	106,611	▲ 749	16,909	98.6%	118.9%
四国	14,197	11,895	15,322	13,822	1,125	1,927	107.9%	116.2%
中国	23,161	51,787	23,843	63,502	682	11,715	102.9%	122.6%
九州	14,295	17,054	12,123	17,609	▲ 2,172	555	84.8%	103.3%
沖縄	72	24	0	0	▲ 72	▲ 24	0.0%	0.0%
総計	148,688	277,297	150,731	325,405	2,043	48,108	101.4%	117.3%



積揚地別実入りコンテナ年度別推移表 (H24~28年度)

積地別

(単位: TEU)



揚地別

(単位: TEU)

